

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
経済学	4年次	必修	講義	2単位(30時間)	岸 磨彦
授 業 概 要					
<p>『経済学』を勉強すると「何か得してお金が貯まるの?」と考える方もいらっしゃるかもしれませんが。確かに経済学は、人や組織が市場でモノやお金を交換しあう活動をモデル化し、その仕組みを分析する目的があります。それとともに私たちの身近な社会生活で経済活動がどのように営まれ、生活にどのように影響を及ぼしているか、またどのような改善をすれば豊かな生活がおくれるのかというヒントを与えてくれる学問です。こうした経済学的な思考方法やバランス感覚を理解することは、物事を論理的に考える際にも役に立つことでしょう。</p> <p>当経済学は、教科書を中心に、身近な時事問題を取り上げ、経済の仕組みや私たちへの生活への影響を解説します。後半は会計の基礎を学びながら、企業の活動を通じて価格や市場の仕組みについて学びます。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学を学ぶことの重要性、意義を認識する。 2. 経済の基礎理論を学習し、身の回りの経済活動や企業活動を簡潔に説明することができる。 3. 経済ニュースに関心を持ち、生活にどのような影響があるか考察する。 4. 会計の基礎を学習し、ケースワークを通して企業の活動や動向について知る。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	経済学の考え方	経済学を学ぶ意義。			岸 磨彦
2	市場経済とは何か	交換と市場			
3	ミクロ経済の基礎(1)	需要と供給			
4	ミクロ経済の基礎(2)	競争的市場のメリット			
5	現代企業の行動	様々な価格政策			
6	市場と政府(1)	市場形成のしくみと政府の役割			
7	市場と政府(2)	所得分配			
8	マクロ経済の基礎(1)	国民所得とGDP			
9	マクロ経済の基礎(2)	インフレ・デフレの消費行動、経済対策			
10	会計の基礎(1)	ケースワーク ①売上と利益			
11	会計の基礎(2)	ケースワーク ②変動費と固定費			
12	会計の基礎(3)	ケースワーク ③損益分岐点売上			
13	企業活動ケーススタディ	飲食店経営にみる価格戦略と利益構造			
14	企業活動ケーススタディ	製造業の原価管理と収益改善策			
15	経済学のまとめ	講義の振り返り			
学 習 方 法					
授業には積極的に参加すること。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕					
◇科目修了試験による評価(90%)を行う。 ◇平常点は成績の評価(10%)の際に考慮する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
①「経済学を学ぶ」		ちくま新書	定価	本体	760円+税
②「餃子屋と高級フレンチではどちらが儲かるか」		ダイヤモンド社	定価	本体	1,500円+税